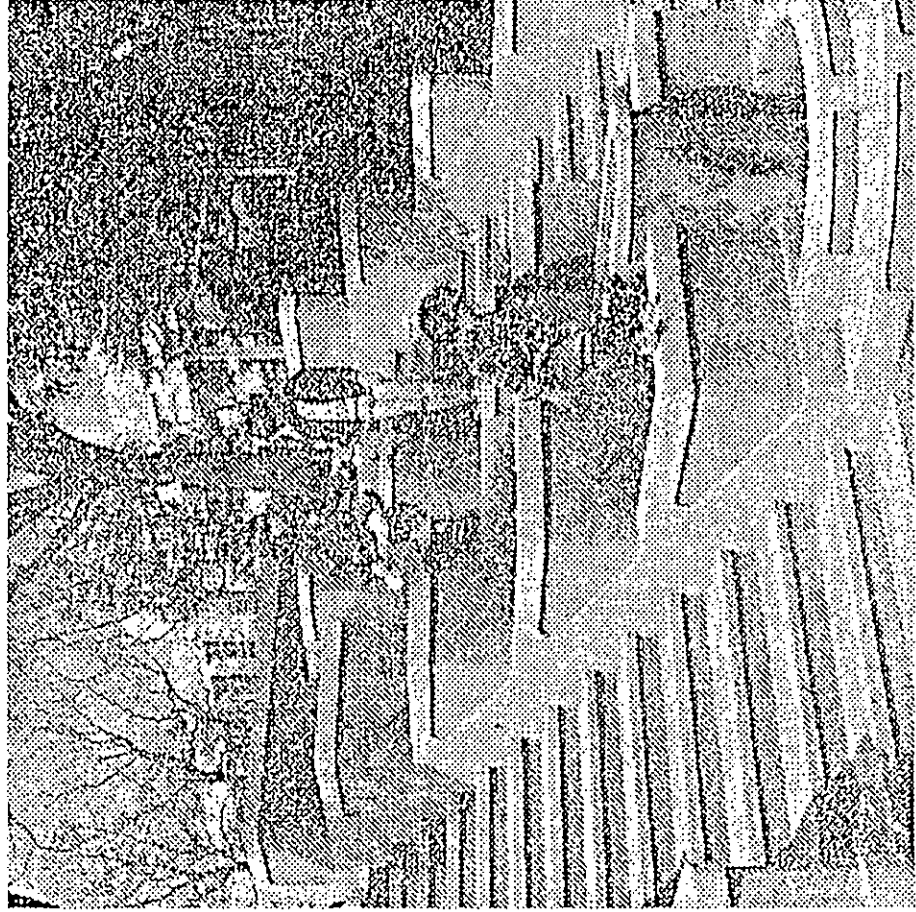


支 宿新
下 151
鉄 谷区
2 の 7
番 井
号 号
電 話 (320)
局 番 号
廣 告 費
(261)52

ドイツ風公園、復元

本郷



再生したカスケードの側で遊ぶ子供たち

ハイカラな滝の流れ

◇
昭和初期にドイツ風の防災公園として作られたが、太平洋戦争で荒れたままになっていた文京区本郷一丁目の元町公園(面積約二千五百平方メートル)が復元され、一旦、昔の姿を再びオープンした。人気があったカスケード(滝)などが生まれかわり、お年寄りが昔を懐かしんで散歩する姿が見られた。

◇
同公園は昭和五年、「震災復興公園計画」に基づいて東京市が、当時の市内に五十二か所作ったものの一つ。いずれも小学校に隣接して作られ、災害時の避難場所と児童の写生、運動の場を兼ねた。

元町公園は、ドイツの造園

方式を参考に設計され、洋風のたたずまいが人気を集めた。中でもハイカラだったのが西側小広場に作られたカスケード。四段の泉を、水が上から順番に流れ落ちる趣向になっていた。

ところが、戦争で門扉や柵(さく)などの遊具部分は供出され、カスケードの水も枯れたままになった。

復活のきっかけは、さる五十三年に、造園の専門誌を讀んでいた区議員が、公園の記録を見つけ、造園当時の設計図や写真が保存されていることがわかったため。五十八年から約四万平方メートルかけて復元改修工事に入っていた。



☆板橋、豊島区も情報公開
情報公開制度が一旦、都のほか、板橋、豊島区で始まった。

板橋区役所広報課情報公開